

2022年1月31日

★演習問題は数専ゼミ・東原教室で学習できます。

氏名

	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	%	学習予定数	学習済	残り数
履修率											0%	80	0	80
正答率											0%	解いた問題を正解できた割合		
学力化率											0%	解けなかった問題を解けるようにした割合		

●水色に反転しているプリントNo.をクリックすることで、教材をご覧になれます。

【基準】 ○ すべて解けた, × 解けない問題があった (「/」は学習を省略した問題です)

節	学習内容 ■項目(学習目標)■	プリント			到達度		
		No.	ページ	問題	第1回	第2回	第3回

1・導関数の応用

↓青色は習得, 緑色はリカバリ習得, 黄色は未習得

§	項目	No.	ページ	問題	第1回	第2回	第3回
§ 1 接線の方程式	(1) 接線と法線の方程式の求め方 ・基本/接点あり型	1	(3/5)	CH			
			(4/5)	【1】			
			(5/5)	【2】			
	(2) $F(x, y) = 0$ の曲線の接線 ・接点あり型	2	(2/9)	CH			
			(3/9)	【1】			
			(4/9)	【2】			
			(5/9)	【3】			
			(6/9)	【4】			
			(7/9)	【5】			
			(8/9)	【6】			
	(3) 媒介変数表示の曲線の接線 媒介変数表示の関数の微分(復習) 媒介変数表示の曲線の接線	3	(2/7)	CH			
			(3/7)	【1】			
			(5/7)	CH			
			(6/7)	【2】			
	(4) 接点が見つからない場合の 接線の方程式の求め方	4	(2/8)	CH			
			(3/8)	【1】			
(4/8)			【2】				
(5/8)			【3】				
(6/8)			【4】				
(7/8)			【5】				
§ 2 平均値の定理	(1) 接点の $x$ 座標を求める ・基本型  ◇特殊型: 接線の傾きが与えられている ◇平均値の定理の特殊例	5	(3/9)	CH			
			(4/9)	【1】			
			(5/9)	【2】			
			(6/9)	【3】			
			(7/9)	【4】			
			(8/9)	【5】			
			(9/9)	【6】			
§ 3 関数の増減	(1) 関数の増減の調べ方 I ・関数 $y$ が増減する場合	6	(3/7)	CH			
			(4/7)	【1】			
			(5/7)	【2】			
			(6/7)	【3】			
	(2) 関数の増減の調べ方 II ・関数 $y$ が増加または減少だけの場合	7	(2/5)	CH			
			(3/5)	【1】			
			(4/5)	【2】			
			(5/5)	【3】			

